

2024 ASIAN ROWING CHAMPIONSHIPS

Report 7(10/12)

10月12日(土)

アジア選手権3日目、グループAの決勝が行われました。日本からは大会初日に続いてW1xが出漕致しました。

昨日までの強風が止み、良いコンディションの元各種目の決勝レースが行われました。

W1x 決勝

比較的漕ぎやすいコンディションの中レースが始まる。スタートから中国、ウズベキスタン、香港がほぼ横一線で、やや遅れてイラン、さらに少し遅れて日本、台湾と続く。日本はスタートダッシュから第一クォーターは十分チャンスがある位置でレースを進めるが、500m手前から徐々にイランとの差が開いていく。レースは中国が先行し、地元の期待を一身に受けるウズベキスタンが僅差で追いかけて香港、イラン、そこからさらに遅れて日本、台湾が追いかける展開で進む。

レース中番になると先行する中国、ウズベキスタンに対し3位の香港、4位のイランが激しく競り合いながら続くが、この中からイランが徐々にポジションを上げ、それに香港が食らいつく形でトップ争いから遅れ始めたウズベキスタンを追い詰める。日本は5位のポジションから何とか巻き返しを図るものの、競り合いながらレースを展開している上位との差を中々詰められずレースは終盤へ。

トップの中国はかわらないが、イランがポジションを上げ2位に浮上。3位には地元ウズベキスタンをかわした香港が入る。ウズベキスタンは4位、日本は懸命の追い上げを図るがポジションはかわらずそのままゴール。アジアの5位でレースを終えた。



先行するクルーを必死に
追い上げようとするW1x
飯島選手(明治安田)。

決勝レース終了後に台湾の選手とお互いの検討をたたえ合い親交を深めるW1x飯島選手(明治安田)。



10月13日(日)の出漕クルー

LW2x
S成瀬選手(中部電力)
、B四方選手(陽進堂ホールディングス)10月13日(日)
決勝 9:40(日本時間13:40)発艇



M1x
宮口選手(日本大学)
10月13日(日)決勝 11:20(日本時間15:20)
発艇



M8+
C西村選手(明治安田)、S佐々木心選手(NTT東日本)、7中田選手(明治安田)、6中溝選手(NTT東日本)
、5福田選手(東レ滋賀)、4柘植選手(トヨタ紡織)、3是谷選手(トヨタ紡織)、2橋本選手(明治安田)
、B林選手(NTT東日本)
10月13日(日)決勝 11:40(日本時間15:40)発艇

明日はいよいよ最終日。日本チームは3つの決勝レースに挑戦します。
最後までチーム一丸となって戦ってまいりますので、引き続きご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。